

地域学校協働連携NEWS

地域学校協働南会津地区研修会 ～CAPワークショップ～

5月2日(火)、あいづCAPの方々を講師にお招きし、CAPワークショップを開催しました。ワークショップでは、子供たちが暴力から自分で身を守るための知識や、具体的な方法についてロールプレイ(寸劇)を通して学びます。自分も他人も大切にできるという視点でつくられた人権教育プログラムです。今回は、大人向けのワークショップということで、地域連携担当教職員や放課後事業に携わる方々等を対象にCAPの基本となる考え方や子供向けワークショップの内容紹介、大人ができる支援方法などについて、研修を行いました。

CAPとは

Child Assault Prevention
「子どもへの暴力防止」と訳されます。
誰もがもつ3つの権利

「安心」「自信」「自由」

を守るための方法を学びます。



考え合う時間、話し合う時間をもう少しつっていきたいと感じました。子供の変化に早く気づき、話を聞きながら、問題の早期解決につながるようにしたいと思います。 <保育所職員>

英語の教師なのですが、保育も教えているので授業に生かしたいと思います。 <高校教員>

「～してはいけない」ではなく「できること」を伝えていくことは、子供が自分を守るためにはとても大切なことだと学びました。小学校や保育所、幼稚園と小さなうちからワークショップの実施をしていただけたらいいなと思いました。 <役場福祉部局職員>

そういう子供がいるなあと思いながら研修を受けました。告げ口と相談について違うということをお子たちに教えていこうと思いました。

<放課後子ども教室スタッフ>

心配をするあまり行動を制限してしまいがちですが、行動を選択させること、一緒に考えることを心がけていこうと思いました。 <教育委員会職員>



今年度も「地域学校協働連携 NEWS」を通して、特色ある地域学校協働活動の取組や、各学校の地域学習の様子について発信していきます。「こんな取組をしています！」という情報をぜひ南会津教育事務所までお知らせください。取材に伺います！

また、南会津教育事務所(地域学校協働本部)では、今回お世話になったあいづCAPをはじめ、講演会やワークショップ、授業における講師や地域人材の情報を提供することができます。教育委員会同士、学校同士でも情報を共有し合い、広域での連携も見据えた地域学校協働活動を進めていきたいですね。